

企業紹介

環境にやさしい、
人にやさしいがテーマです

 株式会社 **三原田組**

代表取締役 三原田 清隆
〒943-0521 上越市清里区寺脇777-1
TEL(025)528-3123 FAX(025)528-4191
URL <http://www.miharada.co.jp/>

業 種：建設
資 本 金：5,000万円
事業内容：土木工事、建築工事など

総合建設業の㈱三原田組。公共工事が減少する中、本業のノウハウを活かして新たな分野に活路を見出す。その1つである環境分野では、アスベスト対策専門の事業部を設置し、従来の除去工法とは異なり、アスベストを固めて封じ込めるという工法で、工期短縮とコストを抑えた対策を提案する。

成長が期待できる分野に注力

同社は、主に新潟県や上越市などから委託を受けて、下水道管工事や道路工事、橋梁工事などを請け負うほか、商業施設や福祉施設の建築など、建設工事全般を行っている。公共工事減少等により、業界を取り巻く環境は厳しいものの、同社は成長が期待できる分野に注力。他社との差別化を図るべく、道路などの舗装工事においては、舗装材の製造から施工、管理まで自社の一貫した管理体制下で行うほか、下水道事業においてもデジタルカメラを搭載した測定車両、汚泥吸引車、高圧洗浄車などを導入し、管路の調査や工事などで高い技術力を発揮している。

アスベストを固めて封じ込める「セラパックシステム」

一方、建築事業では、商業施設などの建築・解体工事で培ったノウハウを活かし、アスベスト（石綿）対策にも力を入れている。アスベストは数年前まで建材として幅広く使われていたが、飛散したアスベストを大量に吸い込むことで、石綿肺や悪性中皮腫を発症するリスクが高まる。そのため、対策が急がれているものの、民間の事務所や倉庫等ではそのまま放置されているところが多い。こうしたなか、同社はアスベストの表面および内部を固めて封じ込める（石灰岩化させる）工法「セラパックシステム」を導入し、普及に努めている。同工法は、一般的な除去工法に比べて凹凸の多い機械室などでも施工が容易で、コストも施工規模によるが、概ね3割程度安い。また、石灰岩化することで、耐火性が高まり、摩擦や衝撃に強く、劣化もしにくくなる。さらに、工期も短縮できるため、営業外時間や休日などを利用しての施工も可能だ。同工法を施工できるのは、甲信越地方では同社だけで、10年間保証するアフターサービスも行っている。



▲アスベストを固化剤で封じ込める



▲施工完了。アスベストを石灰岩化させる



▲ラジオ等で広報活動続ける「ミハラダマン」こと岡畑課長代理

本業を守りつつ、新たな分野へ

同社のアスベスト対策は、インターネットやラジオ（「教えてミハラダマン！」：BSNラジオ毎週木曜日16:30頃～「NEWSな時間」の中で放送）などを通して広報活動を積極的に行ってきたことから、認知度も高まりつつある。今後も同社では、「環境にやさしい」「人にやさしい」を信念に、本業を守りつつ、積極的に新たな分野に活路を見出していく。